

ラオスの農林水産業概況

1. 農林水産業の概要

(1) 農林水産業の概況

- 人口は、約 706 万人（2018 年）。
- 農業は、稲作の自給的生産が中心となっている。
- 稲作は雨季作を基本とし、天水依存である。水稻栽培及び山間部での焼き畑による陸稲栽培で、生産量は稲生育期間中の雨量に大きく左右される。また、農業技術の普及が遅れており、生産性の高い品種・施肥技術等は一部地域にしか普及していない。



(2) 農林水産業の地位（2019 年） （単位：億 US ドル、%）

（単位：億 US ドル、%）

	ラオス		日本	
	名目額	GDP 比	名目額	GDP 比
国内総生産(GDP)	188	—	50,825	—
うち農林水産業	29	15.3	593	1.2
1人当たり GDP(USドル)	2,625		40,063	

資料：国連統計

(3) 農地の状況（2019 年）

（単位：万 ha、%）

	ラオス		日本	
	面積	比率	面積	比率
国土全体	2,368	100.0	3,780	100.0
農用地	239	10.1	440	11.6
耕地（除く永年作物）	155	6.5	412	10.9
永年作物地	17	0.7	27	0.7
永年採草・放牧地	68	2.9	—	—

資料：FAO 統計

(4) 主要農産物の生産状況

（単位：万トン）

	ラオス					日本
	2015	2016	2017	2018	2019	2019
コメ(粳)	410	415	404	358	344	1,053
キャッサバ	238	241	228	228	226	—
さとうきび	202	202	176	183	197	116
バナナ	79	80	95	97	106	0.0006
とうもろこし	152	155	119	98	72	0.01

資料：FAO 統計

2. 農林水産物貿易の概況

(1) 農産物貿易

○農産物輸出入上位5品目（2019年）

<輸出> (単位：百万USドル、%)

品目名	輸出額	シェア
清涼飲料水	229	16.7
天然ゴム（乾燥）	165	12.0
精製糖	102	7.4
キャッサバ（乾燥）	74	5.4
たばこ	66	4.8
総額	1,375	100.0

<輸入> (単位：百万USドル、%)

品目名	輸入額	シェア
清涼飲料水	207	21.8
精製糖	88	9.3
コメ（精米）	25	2.6
たばこ	24	2.5
コーヒー抽出物	23	2.4
総額	951	100.0

資料：FAO統計 注：林・水産物を除く。

(2) 我が国との貿易（2020年）

我が国からの主要輸出品は、自動車、建設用・鉱山用機械、金属加工機械等であり、主要輸入品は、衣類、絶縁電線及び絶縁ケーブル、メリヤス編み及びクロセ編み衣類等。

農林水産物貿易概況は、以下のとおり。

○農林水産物貿易の概況

(単位：百万USドル)

	輸出 (日本→ラオス)	輸入 (ラオス→日本)	我が国の 収 支
総額 (A)	147	129	19
農林水産物 (B)	5	26	△21
農林水産物のシェア (B/A) (%)	3.3	20.0	-

資料：財務省貿易統計

○農林水産物貿易上位5品目

<輸出> (日本→ラオス)

(単位：万ドル、%)

品目名	輸出額	シェア
牛肉	104	21.3
アルコール飲料	45	9.3
粉乳	42	8.5
酵母	39	8.0
魚等缶詰	38	7.9
総額	486	100.0

<輸入> (ラオス→日本)

(単位：万ドル、%)

品目名	輸入額	シェア
木炭	1,518	58.8
コーヒー豆（生豆）	535	20.7
香辛料	16	0.6
たばこ	11	0.4
アルコール飲料	9	0.3
総額	2,581	100.0

資料：財務省貿易統計